

顔認識技術の有用性と問題点

- ① 犯罪率の低下(有用性)
- ② 人種間の判別差(技術的問題)
- ③ 世間の反応(倫理的問題)

①犯罪率の低下(有用性)

NEC社の顔認識技術を活用した防犯システムを導入したインド・スーラト市で

犯罪率が27%低下

引用元:<https://hbol.jp/183129>

②人種間の判別差(技術的問題)

- 有色人種は白人に比べて**正確性が低い**

①顔認識技術による黒人男性誤認逮捕の例も

参考:<https://www.wired.com/story/photo-algorithms-id-white-men-fineblack-women-not-so-much/>

②黒人がゴリラとして認識された例

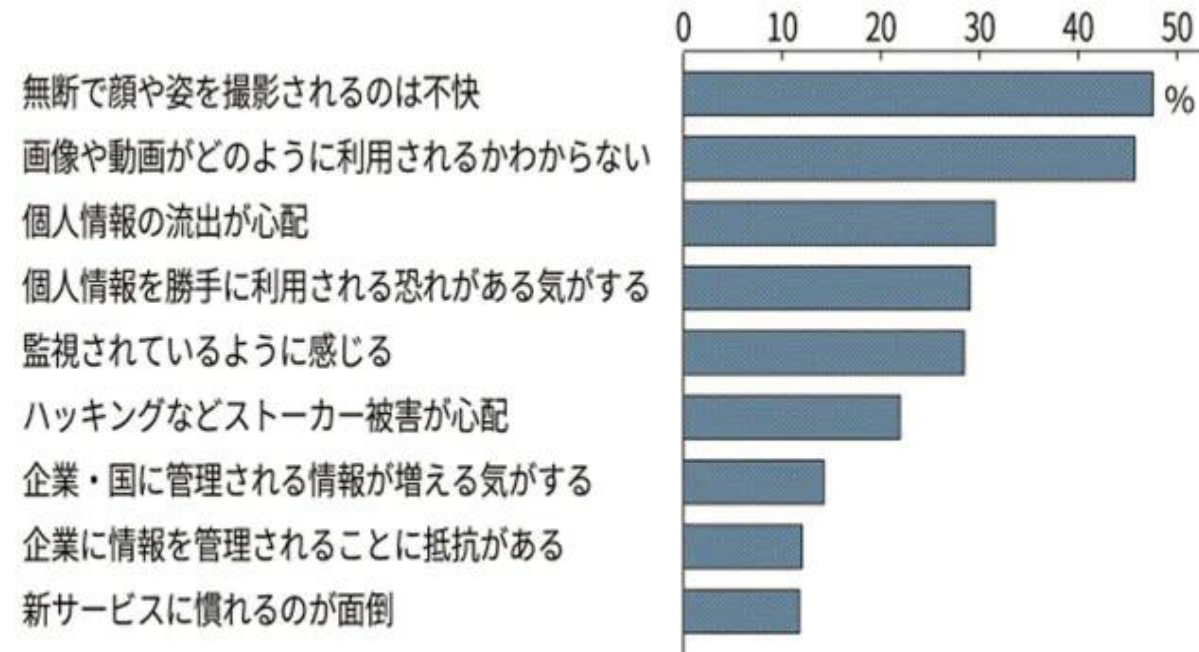
参考:<https://wired.jp/2018/01/18/gorillas-and-google-photos/>

③世間の反応

● クレストの調査によると顔認識技術によるサービスに抵抗感がある人は約6割

→ プライバシー保護との両立が必要

顔認証サービスに抵抗がある理由



(注) 顔認証に抵抗がある324人が対象、複数回答可
(出所) クレスト